

令和 5 年 度

岡 山 市 市 場 事 業 会 計
決 算 審 査 意 見 書

岡 山 市 監 査 委 員

岡 監 第 1 7 4 号
令和 6 年 9 月 2 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

岡山市監査委員	重 松 浩二郎
同	土 居 幸 徳
同	藤 原 哲 之
同	福 吉 智 徳

令和 5 年度岡山市市場事業会計決算審査意見について

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定により審査に付された令和 5 年度岡山市市場事業会計決算及び各証書類その他関係書類を審査した結果、別紙のとおり意見を提出します。

目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の実施場所及び期間	1
第3	審査の着眼点及び方法	1
第4	審査の結果	1
1	業務の概要	3
2	予算の執行状況	6
3	経営成績	7
4	財政状態	9
5	まとめ	15
資	料	17

- (注) 1 文中の金額は、原則として万円単位で表示し、端数は切り捨てた。このため計数が一致しない場合がある。
- 2 文中の取扱数量は、原則としてトン、万本、万鉢で表示し、端数は切り捨てた。このため計数が一致しない場合がある。
- 3 文中の比率及び各表中の数値は、原則として表示の1桁下位で四捨五入した。このため計数が一致しない場合がある。
- 4 文中及び各表中に用いるポイントとは、パーセンテージ間又は指数間の単純差引数値である。
- 5 各符号等の用法は、次のとおりである。
- 「△」・・・ 負数
 - 「－」・・・ 算出不能、該当数値のないもの
 - 「0」・・・ 算出結果が零（分子が0）となるもの
 - 「0.0」・・・ 該当数値はあるが、単位未満のもの

令和5年度岡山市市場事業会計決算審査意見

第1 審査の対象

令和5年度岡山市市場事業会計決算

第2 審査の実施場所及び期間

監査委員室

令和6年6月11日から

令和6年7月30日まで

第3 審査の着眼点及び方法

審査に当たっては、岡山市監査基準に準拠し、市長から審査に付された令和5年度岡山市市場事業決算並びに証書類、事業報告書及び政令で定めるその他の書類が関係法令に適合して作成されているか、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかについて審査するとともに、関係者からの説明を聴取し、会計帳票等証書類との照合及び経営内容の動向を把握するため計数の分析を行い、年次比較等の検討を加えた。

第4 審査の結果

決算並びに事業報告書及び政令で定めるその他の書類は、いずれも関係法令に適合して作成されており、会計帳票等証書類と照合審査の結果、計数は正確であり、かつ、本年度の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認めた。

なお、決算概要及び審査意見は、次のとおりである。

1 業務の概要

(1) 業務実績

業務の実績は、次のとおりである。(資料第1:業務実績年度比較表参照)

取 扱 数 量 の 比 較

(単位：%)

区 分			単位	令和5年度 A	令和4年度 B	増減量 C (A-B)	増減率 C/B	
取 扱 数 量	中 央 卸 売 市 場	青 果 物	野菜	kg	50,407,085	50,685,417	△ 278,332	△ 0.5
			果 実	kg	15,362,000	16,124,396	△ 762,396	△ 4.7
			青果物小計	kg	65,769,085	66,809,813	△ 1,040,728	△ 1.6
	水 産 物	生 鮮	kg	11,977,113	13,423,312	△ 1,446,199	△ 10.8	
		冷 凍	kg	4,378,526	5,136,591	△ 758,065	△ 14.8	
		加 工	kg	3,040,743	3,491,757	△ 451,014	△ 12.9	
		水産物小計	kg	19,396,382	22,051,660	△ 2,655,278	△ 12.0	
		中央卸売市場計	kg	85,165,467	88,861,473	△ 3,696,006	△ 4.2	
	卸 花 売 き 市 地 場 方	切 花	本	24,788,684	27,489,321	△ 2,700,637	△ 9.8	
		鉢 物	鉢	4,443,251	5,131,077	△ 687,826	△ 13.4	
花 木(植木)		本	43,355	52,584	△ 9,229	△ 17.6		
そ の 他			7,368	6,471	897	13.9		

取扱数量を前年度と比較すると、青果物は、野菜は278トン(0.5%)、果実は762トン(4.7%)それぞれ減少し、全体の取扱数量では1,040トン(1.6%)減少して65,769トンとなっている。

水産物は、生鮮水産物は1,446トン(10.8%)、冷凍水産物は758トン(14.8%)、加工水産物は451トン(12.9%)それぞれ減少し、全体の取扱数量では2,655トン(12.0%)減少して19,396トンとなっている。

花きは、切花は270万本(9.8%)、鉢物は68万鉢(13.4%)、花木(植木)は9千本(17.6%)それぞれ減少している。

取 扱 数 量 の 推 移

(単位：kg)

年度	青 果 物		水 産 物	
	取 扱 数 量	指 数	取 扱 数 量	指 数
元	74,380,108	100	24,804,575	100
2	72,358,181	97.3	23,098,485	93.1
3	69,120,051	92.9	23,710,803	95.6
4	66,809,813	89.8	22,051,660	88.9
5	65,769,085	88.4	19,396,382	78.2

(注) 指数は令和元年度を100として算出している。

取扱数量の推移について、令和元年度と比較すると、本年度は、青果物は8,611トン(11.6%)、水産物は5,408トン(21.8%)それぞれ減少している。

取 扱 金 額 の 比 較

(単位：円，%)

区 分			令和5年度 A	令和4年度 B	増減額 C (A-B)	増減率 C/B	
取 扱 金 額	中 央 卸 売 市 場	青果物 野菜	12,643,951,665	12,005,987,781	637,963,884	5.3	
		果実	9,238,370,041	8,611,812,440	626,557,601	7.3	
		青果物小計	21,882,321,706	20,617,800,221	1,264,521,485	6.1	
	水産物	生鮮	15,514,976,785	16,070,603,734	△ 555,626,949	△ 3.5	
		冷凍	5,560,051,113	6,096,058,397	△ 536,007,284	△ 8.8	
		加工	3,432,030,406	3,873,971,378	△ 441,940,972	△ 11.4	
	水産物小計	24,507,058,304	26,040,633,509	△ 1,533,575,205	△ 5.9		
	中央卸売市場計		46,389,380,010	46,658,433,730	△ 269,053,720	△ 0.6	
	金 額	卸花 売き	切花	1,966,747,379	2,224,378,068	△ 257,630,689	△ 11.6
			鉢物	887,022,169	1,019,208,969	△ 132,186,800	△ 13.0
市地 場方		花木(植木)	33,837,583	43,533,022	△ 9,695,439	△ 22.3	
		その他	5,003,840	4,882,756	121,084	2.5	
花き地方卸売市場計		2,892,610,971	3,292,002,815	△ 399,391,844	△ 12.1		
総 合 計			49,281,990,981	49,950,436,545	△ 668,445,564	△ 1.3	

(注) 取扱金額には、消費税及び地方消費税を含んでいる。

取扱金額を前年度と比較すると、青果物は、野菜は6億3,796万円(5.3%)、果実は6億2,655万円(7.3%)それぞれ増加し、全体では12億6,452万円(6.1%)増加して218億8,232万円となっている。

水産物は、生鮮水産物は5億5,562万円(3.5%)、冷凍水産物は5億3,600万円(8.8%)、加工水産物は4億4,194万円(11.4%)それぞれ減少し、全体では15億3,357万円(5.9%)減少して245億705万円となっている。

花きは、切花が2億5,763万円(11.6%)、鉢物が1億3,218万円(13.0%)、花木(植木)が969万円(22.3%)それぞれ減少し、その他は12万円(2.5%)増加し、全体では3億9,939万円(12.1%)減少して28億9,261万円となっている。

取 扱 金 額 の 推 移

年 度	青 果 物		水 産 物		中央卸売市場計	
	取 扱 金 額	指 数	取 扱 金 額	指 数	取 扱 金 額	指 数
元	19,719,113,037	100	25,531,248,729	100	45,250,361,766	100
2	20,868,476,853	105.8	22,090,206,502	86.5	42,958,683,355	94.9
3	20,581,261,601	104.4	23,880,810,289	93.5	44,462,071,890	98.3
4	20,617,800,221	104.6	26,040,633,509	102.0	46,658,433,730	103.1
5	21,882,321,706	111.0	24,507,058,304	96.0	46,389,380,010	102.5

(単位：円)

年 度	花き地方卸売市場		総 合 計	
	取 扱 金 額	指 数	取 扱 金 額	指 数
元	3,481,645,694	100	48,732,007,460	100
2	3,240,340,216	93.1	46,199,023,571	94.8
3	3,432,262,897	98.6	47,894,334,787	98.3
4	3,292,002,815	94.6	49,950,436,545	102.5
5	2,892,610,971	83.1	49,281,990,981	101.1

(注) 指数は令和元年度を100として算出している。

取扱金額の推移について、令和元年度と比較すると、本年度は、青果物は21億6,320万円(11.0%)増加したものの、水産物は10億2,419万円(4.0%)、花きは5億8,903万円(16.9%)それぞれ減少している。市場全体で見ると、総合計では5億4,998万円(1.1%)増加している。

(2) 建設改良事業

青果低温売場棟及び花き部保冷保温売場棟空調設備の更新工事、荷捌場太陽光発電設備設置工事及び水産非常用発電機新設更新工事を実施した。

また、水産冷蔵庫棟の発電機更新に伴う設計業務委託を実施した。

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の予算執行状況は、次表のとおりである。(資料第2:予算決算対照表(収益的収入及び支出)参照)

収益的収入及び支出の予算執行状況

(単位:円,%)

区 分	予算額 A	決算額 B	執行率 B/A	予 算 額 に 比 べ 増 減 又 は 不 用 額 C
収 益 的 収 入	886,364,000	874,504,866	98.7	△ 11,859,134
収 益 的 支 出	815,831,000	768,809,051	94.2	47,021,949

(注)・決算額のうち収益的収入における仮受消費税及び地方消費税は67,177,743円、収益的支出における仮払消費税及び地方消費税は38,449,306円である。

・C欄について、収益的収入においては予算額に比べ決算額の増減(算式B-A)を表し、収益的支出においては不用額(算式A-B)を表す。

収益的収入決算額8億7,450万円は、予算額8億8,636万円に対し98.7%の執行率、また、収益的支出決算額7億6,880万円は、予算額8億1,583万円に対し94.2%の執行率となっている。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の予算執行状況は、次表のとおりである。(資料第3:予算決算対照表(資本的収入及び支出)参照)

資本的収入及び支出の予算執行状況

(単位:円,%)

区 分	予算額 A	決算額 B	執行率 B/A	翌年度への財源繰越 又は繰越額 C	予 算 額 に 比 べ 増 減 又 は 不 用 額 D
資 本 的 収 入	251,535,000	251,534,165	100.0	0	△ 835
資 本 的 支 出	319,542,000	299,463,331	93.7	0	20,078,669

(注)・決算額のうち資本的収入における仮受消費税及び地方消費税は0円、資本的支出における仮払消費税及び地方消費税は18,545,000円である。

・D欄について、資本的収入においては予算額に比べ決算額及び翌年度への財源繰越額の増減(算式B+C-A)を表し、資本的支出においては不用額(算式A-B-C)を表す。

資本的収入決算額2億5,153万円は、予算額2億5,153万円に対し100.0%の執行率、また、資本的支出決算額2億9,946万円は、予算額3億1,954万円に対し93.7%の執行率となっている。

資本的収入の内訳は、企業債2億380万円、出資金4,773万円であり、資本的支出の内訳は、建設改良費2億399万円、企業債償還金9,546万円である。

資本的収入額2億5,153万円と資本的支出額2億9,946万円の差額4,792万円の不足分は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,854万円、減債積立金2,938万円で補てんしている。

(3) 建設改良費の翌年度繰越額

建設改良費の翌年度繰越額は、該当がない。

3 経営成績

(1) 当年度純損益

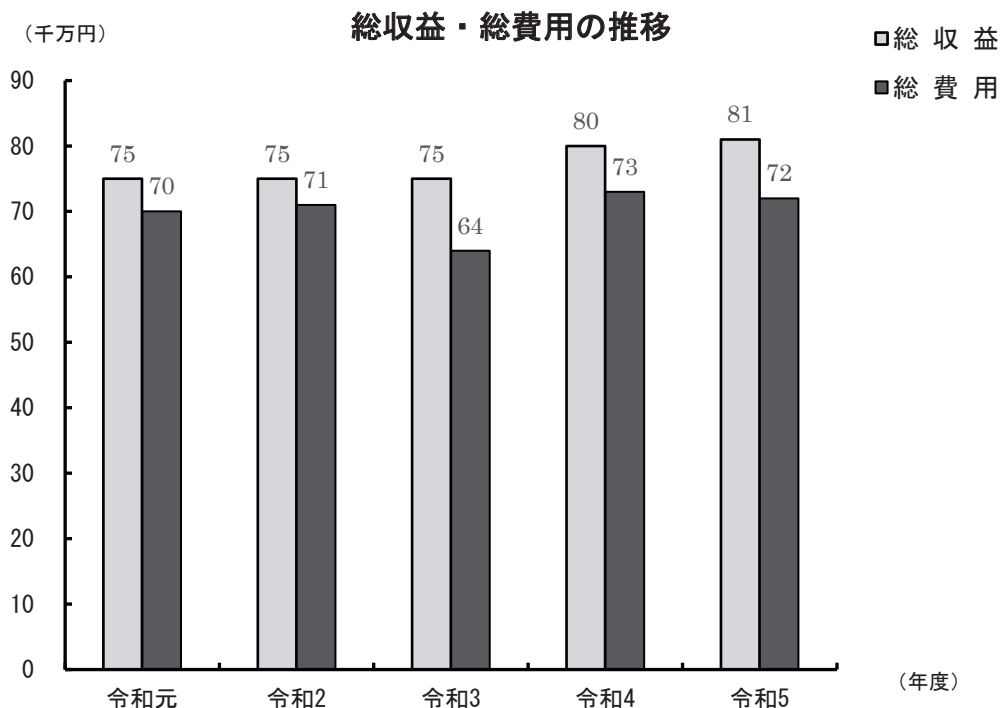
損益計算書における総収益（経常収益と特別利益の合計）から総費用（経常費用と特別損失の合計）を差し引いた当年度純損益は、次表のとおりである。（資料第4：損益計算書年度比較表参照）

当年度純損益

（単位：円，％）

年度	総 収 益			総 費 用			当年度純損益 A - B	総収支比率 A / B
	金額 A	前年度比	指数	金額 B	前年度比	指数		
元	752,687,816	93.8	100	704,987,044	98.8	100	47,700,772	106.8
2	751,178,186	99.8	99.8	711,801,736	101.0	101.0	39,376,450	105.5
3	752,073,837	100.1	99.9	638,867,887	89.8	90.6	113,205,950	117.7
4	795,921,255	105.8	105.7	731,403,168	114.5	103.7	64,518,087	108.8
5	807,470,995	101.5	107.3	720,320,180	98.5	102.2	87,150,815	112.1

（注）指数は令和元年度を100として算出している。



総収益は8億747万円で、前年度に比べ1,154万円（1.5％）増加、総費用は7億2,032万円で、前年度に比べ1,108万円（1.5％）減少している。

総収支比率は112.1％（前年度108.8％）を示し、8,715万円の純利益を生じ、黒字決算となっている。

(2) 営業損益及び経常損益

営業損益及び経常損益は、次表のとおりである。(資料第4, 第5:費用節別年度比較表参照)

営業損益及び経常損益

(単位:円, %)

科 目	令和5年度		令和4年度		増減額 C (A - B)	増減率 C / B
	金額A	構成比	金額B	構成比		
営業収益	672,137,860	83.2	667,068,731	83.8	5,069,129	0.8
営業外収益	135,333,135	16.8	128,852,524	16.2	6,480,611	5.0
計(経常収益)	807,470,995	100	795,921,255	100	11,549,740	1.5
営業費用	716,904,005	99.5	727,339,925	99.4	△ 10,435,920	△ 1.4
営業外費用	3,416,175	0.5	4,063,243	0.6	△ 647,068	△ 15.9
計(経常費用)	720,320,180	100	731,403,168	100	△ 11,082,988	△ 1.5
営業損益	△ 44,766,145		△ 60,271,194		15,505,049	
経常損益	87,150,815		64,518,087		22,632,728	
経常収支比率	112.1%		108.8%		3.3ポイント	

- (注)・営業損益＝営業収益－営業費用
 ・経常損益＝経常収益－経常費用
 ・経常収支比率＝経常収益／経常費用×100

営業収益は6億7,213万円、営業外収益は1億3,533万円で、その合計である経常収益は8億747万円となり、前年度に比べ1,154万円(1.5%)増加している。経常収益の増加の主な理由は、営業収益については、電気料金の高騰に伴い、市場内事業者からの電気料収入が増加し、営業外収益については、物価高騰への対応に要する経費に係る繰入金を一般会計から繰入れたためである。

営業費用は7億1,690万円、営業外費用は341万円で、その合計である経常費用は7億2,032万円となり、前年度に比べ1,108万円(1.5%)減少している。経常費用の減少の主な理由は、営業費用のうち、システム更新等に係る委託料が減少したためである。

営業損益では4,476万円の損失が生じ、経常損益では8,715万円の利益が生じている。

経常収支比率は112.1%で、前年度に比べ3.3ポイント上昇している。(資料第7:経営分析表参照)

(3) 特別損益

特別損益は、該当がない。

4 財政状態

(1) 資産、負債及び資本

要約比較貸借対照表は、次表のとおりである。(資料第6:貸借対照表年度比較表参照)

要約比較貸借対照表

(単位：円，%)

科 目	令和5年度末現在		令和4年度末現在		増減額 C (A - B)	増減率 C/B
	金額 A	構成比	金額 B	構成比		
固定資産	3,971,599,011	50.7	3,927,402,726	52.6	44,196,285	1.1
流動資産	3,855,061,873	49.3	3,535,320,747	47.4	319,741,126	9.0
資産合計	7,826,660,884	100	7,462,723,473	100	363,937,411	4.9
固定負債	566,072,981	7.2	441,075,519	5.9	124,997,462	28.3
流動負債	411,450,755	5.3	274,553,639	3.7	136,897,116	49.9
繰延収益	332,729,674	4.3	365,571,821	4.9	△ 32,842,147	△ 9.0
負債合計	1,310,253,410	16.7	1,081,200,979	14.5	229,052,431	21.2
資本金	5,367,594,983	68.6	5,260,837,927	70.5	106,757,056	2.0
剰余金	1,148,812,491	14.7	1,120,684,567	15.0	28,127,924	2.5
資本合計	6,516,407,474	83.3	6,381,522,494	85.5	134,884,980	2.1
負債・資本合計	7,826,660,884	100	7,462,723,473	100	363,937,411	4.9

ア 資産

資産合計は78億2,666万円で、前年度末に比べ3億6,393万円(4.9%)増加している。これは、固定資産が4,419万円(1.1%)、流動資産が3億1,974万円(9.0%)それぞれ増加したためである。

固定資産の増加は、主に機械及び装置が増加したためであり、流動資産の増加は、主に現金預金が増加したためである。

イ 負債及び資本

資産の調達資金源を示す負債、資本の構成は、固定負債が5億6,607万円(構成比7.2%)、流動負債が4億1,145万円(構成比5.3%)、繰延収益が3億3,272万円(構成比4.3%)、資本金が53億6,759万円(構成比68.6%)、剰余金が11億4,881万円(構成比14.7%)となっている。

これらを前年度末と比べると、固定負債は主に企業債の増加により1億2,499万円(28.3%)増加、流動負債は主に未払金が増加したことにより1億3,689万円(49.9%)増加、繰延収益は長期前受金収益化累計額の増加により3,284万円(9.0%)減少している。

資本金は、主に令和4年度末処分利益剰余金及び一般会計出資金の組入れにより1億675万円(2.0%)増加している。

剰余金は、主に減債積立金の増加により2,812万円(2.5%)増加している。

ウ 財務比率

財務比率は、次表のとおりである。(資料第7参照)

財 務 比 率

(単位：%)

分析項目	令和5年度	令和4年度	算 式
固定資産対長期資本比率 (望ましい比率 100%以下)	53.6	54.6	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$
流 動 比 率 (望ましい比率 200%以上)	936.9	1,287.7	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
当 座 比 率 (望ましい比率 100%以上)	936.9	1,287.7	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$

固定資産とその調達資金源との関係を見る固定資産対長期資本比率は53.6%で、前年度末に比べ1.0ポイント低下しており、望ましいとされる比率を示している。

短期の支払能力をみる流動比率は936.9%、当座の支払能力をみる当座比率は936.9%で、前年度末に比べ350.8ポイント低下しているものの、望ましいとされる比率を示している。

エ 老朽化の状況

有形固定資産減価償却率は、次表のとおりである。(資料第7参照)

有 形 固 定 資 産 減 価 償 却 率

(単位：%)

分析項目	令和5年度	令和4年度	算 式
有形固定資産 減 価 償 却 率	80.0	80.3	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$

老朽化の度合を示す有形固定資産減価償却率は80.0%で、前年度に比べ0.3ポイント低下している。低下の主な理由は、青果低温売場棟及び花き部保冷保温売場棟空調設備の更新、荷捌場太陽光発電設備設置及び水産非常用発電機新設更新を実施したことにより、償却対象資産の帳簿原価の総額が増加したためである。

(2) 収入状況

収入状況は、次表のとおりである。

使用料等に係る収入状況

(単位：円，%)

区 分	令和5年度					令和 4年度 収入率	
	調 定 額 A	収 入 額 B	収入率 B/A	不納欠損額 C	収入未済額 A－B－C		
現 年 度 分	売上高割使用料	131,701,282	121,038,669	91.9	0	10,662,613	91.6
	施設使用料	431,716,248	421,229,410	97.6	198,440	10,288,398	97.4
	電 気 料	150,172,794	146,487,598	97.5	0	3,685,196	97.2
	水 道 料	25,072,560	24,109,906	96.2	0	962,654	97.3
	その他営業収益	651,948	602,808	92.5	0	49,140	91.8
	営業収益計	739,314,832	713,468,391	96.5	198,440	25,648,001	96.3
過年度繰越分	35,686,683	26,197,375	73.4	1,347,122	8,142,186	72.2	
合 計	775,001,515	739,665,766	95.4	1,545,562	33,790,187	95.3	

(注) 金額は、消費税及び地方消費税を含んでいる。

過年度繰越分の調定額は、令和5年3月31日現在の未収金の額である。また、誤調定(20,000円)を調整している。

(参考) 売上高割使用料、自動販売機電気料及び市場文化会館光熱費(その他営業収益)のうち、納期限が次年度となる額(10,226,540円)を除いて収入率を算出すると、現年度分と過年度繰越分の合計で96.7%となっており、前年度と同率である。

収入率をみると、現年度分は96.5%で前年度に比べ0.2ポイント上昇、過年度繰越分は73.4%で前年度に比べ1.2ポイント上昇、合計では95.4%で前年度に比べ0.1ポイント上昇している。

収入未済額は3,379万円で、前年度に比べ191万円(5.4%)減少している。

不納欠損額は154万円で、前年度に比べ皆増となっている。

今後とも適切な債権管理のもと、収入未済額の解消に努められたい。

(3) 企業債

企業債の残高状況は、次表のとおりである。

企業債の残高状況

(単位：円，%)

年度	前年度末残高 A	借入額	償還額	年度末残高 B	増減 C (B-A)	増減率 C/A
元	713,586,807	140,700,000	115,989,209	738,297,598	24,710,791	3.5
2	738,297,598	0	99,210,886	639,086,712	△ 99,210,886	△ 13.4
3	639,086,712	0	122,108,573	516,978,139	△ 122,108,573	△ 19.1
4	516,978,139	107,200,000	119,365,782	504,812,357	△ 12,165,782	△ 2.4
5	504,812,357	203,800,000	95,468,331	613,144,026	108,331,669	21.5

本年度末の企業債残高は6億1,314万円で、前年度末に比べ1億833万円(21.5%)増加している。
また、利子負担率は0.5%で、前年度に比べ0.2ポイント低下している。(資料第7参照)

(4) 一般会計からの繰入金

一般会計からの繰入金は、次表のとおりである。

一般会計からの繰入状況

(単位：円，%)

科目	内容	令和5年度 A	令和4年度 B	増減額 C (A-B)	増減率 C/B	
営業外 収益	他会計 補助金	指導監督等に要する経費	85,742,201	88,139,617	△ 2,397,416	△ 2.7
		企業債利息の償還に要する経費	1,457,650	1,854,316	△ 396,666	△ 21.4
		児童手当に要する経費	430,000	600,000	△ 170,000	△ 28.3
		物価高騰への対応に要する経費	9,472,490	0	9,472,490	—
収益的収入計		97,102,341	90,593,933	6,508,408	7.2	
出資金	他会計 出資金	企業債元金の償還に対する出資金	47,734,165	59,682,891	△ 11,948,726	△ 20.0
資本的収入計		47,734,165	59,682,891	△ 11,948,726	△ 20.0	
合計		144,836,506	150,276,824	△ 5,440,318	△ 3.6	

本年度における繰入金の合計は1億4,483万円で、前年度に比べ544万円(3.6%)減少している。収益的収入においては9,710万円で、主に物価高騰への対応に要する経費の増加により、前年度に比べ650万円(7.2%)増加、資本的収入においては4,773万円で、前年度に比べ1,194万円(20.0%)減少している。

(5) キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フロー計算書は、一事業年度における資金の増加又は減少の状況を、業務活動、投資活動及び財務活動に区分して表したものであり、次表のとおりである。

キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

区	分	令和5年度	令和4年度	増減
業務活動による キャッシュ・フロー	当年度純利益	87,150,815	64,518,087	22,632,728
	減価償却費	137,387,611	158,205,436	△ 20,817,825
	固定資産除却損	3,454,903	0	3,454,903
	長期前受金戻入額	△ 32,842,147	△ 33,738,202	896,055
	受取利息及び配当金	△ 4,682,465	△ 4,469,588	△ 212,877
	支払利息及び企業債取扱諸費	2,915,300	3,708,633	△ 793,333
	預り金の増減額 (△は減少)	11,759,395	844,002	10,915,393
	未収金の増減額 (△は増加)	6,245,256	△ 12,528,484	18,773,740
	未払金の増減額 (△は減少)	13,313,909	18,750,323	△ 5,436,414
	貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△ 380,999	269,660	△ 650,659
	賞与等引当金の増減額 (△は減少)	310,000	△ 840,000	1,150,000
	退職給付引当金の増減額 (△は減少)	499,605	△ 1,790,700	2,290,305
	小計	225,131,183	192,929,167	32,202,016
	受取利息及び配当金	4,682,465	4,469,588	212,877
支払利息及び企業債取扱諸費	△ 2,915,300	△ 3,708,633	793,333	
計(A)	226,898,348	193,690,122	33,208,226	
投資活動による キャッシュ・フロー	有形固定資産取得による支出	△ 57,770,000	△ 106,540,000	48,770,000
	計(B)	△ 57,770,000	△ 106,540,000	48,770,000
財務活動による キャッシュ・フロー	企業債による収入	203,800,000	107,200,000	96,600,000
	企業債の償還による支出	△ 95,468,331	△ 119,365,782	23,897,451
	一般会計出資金による収入	47,734,165	59,682,891	△ 11,948,726
	計(C)	156,065,834	47,517,109	108,548,725
資金増減額 (A+B+C)		325,194,182	134,667,231	190,526,951
資金期首残高		3,500,857,665	3,366,190,434	134,667,231
資金期末残高		3,826,051,847	3,500,857,665	325,194,182

業務活動によるキャッシュ・フローにおいては、主に当年度純利益と減価償却費により2億2,689万円の資金増加となっている。

投資活動によるキャッシュ・フローにおいては、主に花き部保冷保温売場棟空調設備更新工事による固定資産取得により5,777万円の資金減少となっている。

財務活動によるキャッシュ・フローにおいては、企業債による収入が2億380万円、企業債の償還による支出が9,546万円、一般会計出資金による収入が4,773万円のため、1億5,606万円の資金増加となっている。

この結果、本年度の資金期末残高は、3億2,519万円増加して38億2,605万円となっている。

5 ま と め

(1) 業務の概要について

取扱数量について前年度と比較すると、青果物は1,040トン（1.6%）減少して65,769トンとなり、水産物は2,655トン（12.0%）減少して19,396トンとなっている。花きは、切花は270万本（9.8%）、鉢物は68万鉢（13.4%）、花木（植木）は9千本（17.6%）それぞれ減少している。

取扱金額について前年度と比較すると、青果物は12億6,452万円（6.1%）増加したが、水産物が15億3,357万円（5.9%）、花きが3億9,939万円（12.1%）それぞれ減少し、市場全体では6億6,844万円（1.3%）減少して492億8,199万円となっている。

(2) 経営成績について

経営成績についてみると、総収支比率は112.1%で、純利益8,715万円の黒字となっている。

なお、営業損益は4,476万円の赤字、経常損益は8,715万円の黒字となっている。

財務比率については、すべての比率において、望ましいとされる水準が維持されている。

使用料等に係る収入状況をみると、現年度分と過年度繰越分を合わせた収入率は95.4%で、前年度に比べ0.1ポイント上昇している。また、過年度繰越分の収入未済額814万円が認められた。今後とも適切な債権管理のもと、収入未済額の解消に努められたい。

市場事業の安定経営のための方向性を示した「岡山市卸売市場経営戦略」（令和4年度～令和13年度）と、市場施設の保全や維持、更新について定めた「岡山市卸売市場個別施設計画」（令和4年度～令和13年度）に基づき、令和5年度は、安全・安心な食品の供給や、環境に配慮した設備の更新等を目的として、青果低温売場棟及び花き部保冷保温売場棟空調設備の更新工事、屋根付荷捌場太陽光発電設備設置工事等を行った。また、開かれた市場づくりに向けた取り組みとして、中央卸売市場移転開設40周年（開設60周年）を記念した「市場感謝デー」、「お花がいっぱい！カムカム！市場（花き市場フェア）」の開催、「2代目おかやま市場インフルエンサー」によるSNSを活用した情報発信事業等を行った。

(3) 今後について

市場事業については、人口減少、市場外流通の増加、物流環境の変化等により、取扱数量の減少傾向が続いていることに加え、老朽化が進む施設の保全や設備の維持・更新費用の増加が見込まれることから、その財源の確保と収益力の向上、計画的な保全、更新等による費用の平準化と経費の節減に努めるなど、引き続き一層の経営健全化に取り組むことが必要である。

こうした状況の中、市場においては「岡山市卸売市場経営戦略」及び「岡山市卸売市場個別施設計画」に沿って、市場が目指す目標像の実現に向けた取り組みや、計画予防的な施設保全等の着実な実施に努められたい。

また、令和6年度から、市場の将来構想の策定に向けて「岡山市場未来会議」が開催されているところであり、様々な意見を踏まえた幅広い議論が行われることを期待する。

今後とも、安全・安心な生鮮食料品等を合理的な価格で安定的に供給するという公的機能を十分に発揮できるよう、市場の活性化と安定的な経営に取り組まれることを要望する。

資 料

資 料 目 次

資料第1	業務実績年度比較表	20
資料第2	予算決算対照表 (収益的收入及び支出)	22
資料第3	予算決算対照表 (資本的收入及び支出)	24
資料第4	損益計算書年度比較表	26
資料第5	費用節別年度比較表	28
資料第6	貸借対照表年度比較表	30
資料第7	経営分析表	32

業 務 実 績

資料第 1

項 目	単位	令和 5 年度		令和 4 年度		令和 3 年度	
		実 績 A	A/B	実 績 B	B/C	実 績 C	
青 果 物	卸 売 業 者	社	2	100	2	100	2
	仲 卸 業 者	社	19	90.5	21	100	21
	売 買 参 加 者	社	106	97.2	109	101.9	107
	開 市 日 数	日	251	99.6	252	99.6	253
	取 扱 数 量	kg	65,769,085	98.4	66,809,813	96.7	69,120,051
	野 菜	kg	50,407,085	99.5	50,685,417	96.0	52,806,806
	果 実	kg	15,362,000	95.3	16,124,396	98.8	16,313,245
	1 日 当 た り の 取 扱 数 量	kg	262,028	98.8	265,118	97.0	273,202
	取 扱 金 額	円	21,882,321,706	106.1	20,617,800,221	100.2	20,581,261,601
	野 菜	円	12,643,951,665	105.3	12,005,987,781	99.4	12,078,184,506
	果 実	円	9,238,370,041	107.3	8,611,812,440	101.3	8,503,077,095
	1 日 当 た り の 取 扱 金 額	円	87,180,565	106.6	81,816,668	100.6	81,348,860
	平 均 価 格	円	333	107.8	309	103.7	298
	水 産 物	卸 売 業 者	社	2	100	2	100
仲 卸 業 者		社	19	90.5	21	95.5	22
売 買 参 加 者		社	117	95.1	123	96.9	127
開 市 日 数		日	254	100	254	100.0	254
取 扱 数 量		kg	19,396,382	88.0	22,051,660	93.0	23,710,803
生 鮮 水 産 物		kg	11,977,113	89.2	13,423,312	93.5	14,362,579
冷 凍 水 産 物		kg	4,378,526	85.2	5,136,591	93.2	5,509,253
加 工 水 産 物		kg	3,040,743	87.1	3,491,757	91.0	3,838,971
1 日 当 た り の 取 扱 数 量		kg	76,364	88.0	86,818	93.0	93,350
取 扱 金 額		円	24,507,058,304	94.1	26,040,633,509	109.0	23,880,810,289
生 鮮 水 産 物		円	15,514,976,785	96.5	16,070,603,734	110.0	14,607,596,693
冷 凍 水 産 物		円	5,560,051,113	91.2	6,096,058,397	110.7	5,506,760,889
加 工 水 産 物		円	3,432,030,406	88.6	3,873,971,378	102.9	3,766,452,707
1 日 当 た り の 取 扱 金 額		円	96,484,482	94.1	102,522,179	109.0	94,018,938
平 均 価 格	円	1,263	106.9	1,181	117.3	1,007	

年 度 比 較 表

項 目	単位	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
		実 績 A	A/B	実 績 B	B/C	実 績 C	
花 き 地 方 卸 売 市 場	卸 売 業 者	社	1	100	1	100	1
	仲 卸 業 者	社	4	100	4	100	4
	売 買 参 加 者	社	225	98.3	229	97.9	234
	開 市 日 数	日	253	99.6	254	100	254
	切 花 取 扱 数 量	本	24,788,684	90.2	27,489,321	88.4	31,089,703
	鉢 物 取 扱 数 量	鉢	4,443,251	86.6	5,131,077	86.5	5,931,812
	花 木 (植 木) 取 扱 数 量	本	43,355	82.4	52,584	94.5	55,655
	そ の 他 取 扱 数 量		7,368	113.9	6,471	42.1	15,376
	取 扱 金 額	円	2,892,610,971	87.9	3,292,002,815	95.9	3,432,262,897
	切 花	円	1,966,747,379	88.4	2,224,378,068	99.5	2,234,536,842
	鉢 物	円	887,022,169	87.0	1,019,208,969	89.3	1,141,272,761
	花 木 (植 木)	円	33,837,583	77.7	43,533,022	90.7	47,995,591
	そ の 他	円	5,003,840	102.5	4,882,756	57.7	8,457,703
	1 日 当 た り の 取 扱 金 額	円	11,433,245	88.2	12,960,641	95.9	13,512,846
	総 取 扱 金 額	円	49,281,990,981	98.7	49,950,436,545	104.3	47,894,334,787
	関 連 事 業 者	社	64	98.5	65	100	65
職 員 数	人	24	100	24	100	24	
損 益 勘 定 所 属 職 員	人	24	100	24	100	24	

- (注) 1 取扱金額には、消費税及び地方消費税額を含んでいる。
 2 卸売業者、仲卸業者、売買参加者、関連事業者は、毎年度末（3月31日）現在である。
 3 平均価格は、1kg当たりの価格を示す。
 4 職員数（損益勘定所属職員）は、毎年度末（3月31日）現在であり、管理者、再任用短時間勤務職員及び会計年度任用職員を含む。